



発行所 佐賀市与賀町 1-24 佐賀県PTA連合会 ☎0952-22276 印刷 佐賀印刷社

発行責任者 会長 江田 明弘

語り合おう！ 「家庭の日」 (毎月第三日曜日)

# 令和元年度 市郡連リーダー研修会

令和二年二月二十五日(土) 於、グランデはがくれ

## 講演①

講師 バッカーズ寺子屋塾長 木村 貴志様

演題 「大人の責任 親としての在り方を考える」



バッカーズ寺子屋塾長として活動される中での経験をもとに大人としての在り方をご指導いただきました。

### 一、話の聴き方

- ① できるだけ話しての目を見て聞く
  - ② 頬杖をついたり、腕組みをしない
  - ③ 物音を立てない
  - ④ メモは必要に応じてとる
  - ⑤ うなずいたり、笑ったり、話し手の心に沿った反応を心がける
- 二、下村湖人の言葉より(講演資料参照)
- ① 子供に何か話しかけられるのを面倒くさがる親ほど、根気よく子供に絶望の習慣を養っている親はない。
  - ② 他人が非難されているのを痛快がる人ほど、自分が他人から非難されるのを気に病む人であり、他人に対して傲慢な人ほど、他人か自分に対して傲慢であるのを嫌がるものである
  - ③ よき親になりたいと願う人々のために私が用意している助言がただ一つある。それは「子供をその善悪に関わらず常にいたわってやる」ということである。
  - ④ 子供は大人のまねをする。このことを忘れさせなければ、子供の教育はさほど困難なことではない。
  - ⑤ 子供というのは、親に本当に信用されているという自信があると、めったにうそを言ったりかくれて悪事を働いたりしないものである。
  - ⑥ 年齢相応に能力が認められ、それにふさわしい責任が与えられると、大抵の困難に打ち勝ってそれを果たすことが出来るものなのである。

## 講演②

講師 阿蘇青少年交流の家次長 北見 靖直様

演題 「子どもの自己肯定感を育むノウハウ」



青少年交流の家企画専門職員としての経験より子どもたちと生きていくときの自己肯定感(自己有用感)を育てるために必要な大人の在り方を教えていただきました。以下、北見氏の講演より印象に残った言葉をお知らせします。

- 一、「大切なこと」は子どものあるがままを肯定すること
- 二、大切にしたいこと「だれ一人取り残さないこと(捨てないこと)」
- 三、そばにいる大人の役割は、様々な場・活動を通して子どもたちの成長を支援していくこと
- 四、生き様が生き様を創る！(本気の大人の取り組みが本気の子どもを創る)
- 五、互いの信頼感をつくるには。
  - ① 一緒にやる感、その中で「名前を呼ぶ」
  - ② 「名前+肯定」の声掛け「聴く」などまず肯定！そこからスタート
- 六、信頼関係をつくるには？魔法の言葉を「かけてあげましょう」「ありがとう」
- 七、自己肯定感を育てるポイント
  - 始まり↓認める・労う・ほめる(存在肯定)
  - 中間↓できた・変わった・できるはず(仮題提示)
  - 終わり↓ほめる言葉+そのことを自信・自分らしさへ結びつける。
- 八、ほめるコツ「3つ」
  - ①「当たり前」今その時、そばめその人をほめる(よく来たね・それいいね・いい名前だね)
  - ②「動きほめ」今のうまい!! ありがとう!!
  - ③「気づきほめ」今の動きが助かったよ、よく気が付いたね等々



# 贈る言葉 卒業おめでとう



鳥栖北小P 金子 淳志

六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

新しい時代の幕開けの年に皆さんは小学生最後の年を過ごしました。新しい年号は「令和」と聞いた時の興奮と共に小学生時代の思い出を懐かしかったこと、様々な思い出を懐かしく振り返ることでしょう。この六年間で経験したこと、出会えた友達や先生と過ごした時間は、これからの人生にとつて、かけがえのない宝物としてみなさん自身を支えてくれるはずですよ。

春から中学生という新たなスタートラインに立つ皆さんに応援の意味を込めてこの言葉を送ります。

「与えられたものは有限、求めるものは無限」

二〇二八年平昌オリンピックで活躍した小平奈緒選手の言葉です。当たり前前に与えられていたものの大切さを理解した上で、求めるものは、自分が求めさえすれば無限にあると気付いたそうです。

限りがあると思っていることでも、自分の働きかけや行動でその限度は変えることができます。自分の目指す目標ができた時、諦めず、粘り強く求め続けて下さい。そして与えられていることに感謝できる人であってほしいと思います。鳥栖北小学校で出会えた人達が、皆さんを応援してくれています。

皆さんの未来にそれぞれの花が咲くことを願っています。



東原庵舎西溪校P 陣内 幹

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

思い返せば卒業生の皆さんが小学校三年生の時に、旧中部小学校と旧西部小学校が統合し、現在の西溪校となり、七年もの月日が流れました。開校当時は見知らぬ顔ぶれや今までは全く違う環境で幼いながらに緊張されていた事と、思います。

卒業に至るまで、いろんな楽しい事、苦しい事があったと思います。しかし、仲間同士で体育祭や文化発表会等の色々な行事を作りあげてきた皆さんの姿を見て、とても頼もしく感じました。決して楽ではなかったと思いますが、同じ思いや努力を共に過ごした仲間達は今後も大切な掛けがえのない存在です。これからは別々の道を歩む事になりますが、いつまでも人の事を思いやる気持ちを忘れない素敵な大人に歩み近づいてくれる事を期待しています。

を忘れないで下さい。

失敗を恐れては前には進めません。一つの目標に向かえば、失敗も自分の力に変えていけるはずですよ。

そして、力を貸してくれる仲間がいます。支えてくれる仲間がいます。仲間と力を合わせ、物事に挑戦すれば、素晴らしい未来が待っているはずですよ。

皆さんの輝かしい未来を応援しています。



相知小育 青山 裕一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

六年間の小学校生活の中には言葉では言い表せないたくさんの思い出が、一人ひとりの胸の中に溢れている事でしょう。

これから皆さんは、新しい道へ進んで行く事となりますが、どんな時も「挑戦する」と言う気持ち



六角小P 福地 春雄

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは「令和」最初の卒業生となります。まさに新しい時代を引っ張っていく世代になります。将来は、技術の発達も進み人工知能(AI)により生活の大きな変化がやってくる。今まで受験、就職など人間同士で切磋琢磨してきた時代から機械の頭脳とも競争しなければいけない厳しい時代に突入していきます。

しかし、人間にはコンピュータにできない「相手の気持ちを汲み取り行動する」という素晴らしい能力があります。その能力を発揮するために、人間同士の間でつながりを大切にできる大人になってほしいと思います。



塩田中P 峰松 洋保

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

九年間の義務教育を無事に終えられました事にお祝いを申し上げます。

なかでもこの中学校での三年間は、自己を錬磨し研鑽して、精神力と知力を向上させ、勉学と部活動とに勤しまれた有意義な三年間であったと思います。

ご指導いただいた先生方、見守ってくださった地域の方々、そして、誰よりも皆さんの事を思い、育ててくださった保護者、家族に感謝をし、それぞれが思い描く夢に向かい、希望を持って突き進み、お世話になった全ての人に恩返しができる大人に成長して欲しいと思います。

## ランドセル



「娘のランドセルは、祖母と社会人の三つ子の姉兄が頑張りのエールを込めて買ってくれたランドセルです。」

三つ子の入学時は三人で一緒に学校に行くので、さほど心配もなく困った事があってもお互いに助け合い通っていました。下の娘は、自分から声を掛けて友達を作ったり出来る子ではないので心配しましたが、沢山友人を作っているようです。

毎朝スクールバスに乗る為、六・七分の距離を犬の散歩もかねて一緒に歩いて送っています。

低学年の頃は大きなランドセルを背負い、歌をうたったり、しりとりをしながら歩いていました。五年生となった今では、学校での出来事や友人との話し、ちょっとした恋話など楽しく聞かせてもらっています。色々な話しの中で友達の気持ち、自分はどうか思ったのか、どうした方が良かったのか、自分なりの考えをしつかり持つようになつた娘を見て成長を感じる事が多くなってきました。

時には、機嫌が悪く下を向いて黙々と歩く日もあります。近所の方に会うと自分から挨拶をしています。そんな姿を見ると社会性も身についたようで嬉しく思います。

沢山の思い出と共に後期課程に進むまでの一年、見守って行きたいと思っています。

東原庵舎中央校P 前田 晶子

# 夢・未来へ 翔たけ!!

大山小 副島 彩加

私の夢は、産婦人科の医者になることです。理由は新しい命の誕生を支え、多くの人を笑顔にしたいからです。数年前に見たコウノドリという産婦人科を舞台にしたドラマでは、困難な状況でも無事に赤ちゃんが産まれるように尽くす医者の姿に感動しました。私もそんな産婦人科医になれたいです。お母さんや赤ちゃんの命を守るためには、難しい判断や厳しい決断をすることもあると思います。そのためにもきちんとした目標を定め、必要な知識を勉強し、いろいろな経験を積み重ねることが大切だと思います。

また、お母さんが安心して心も体もリラックスして出産にのぞめるように、産婦人科医が相手の気持ちを考えて接

鳥栖小 岩本 佳賢

ぼくの将来の夢は、まだはっきりとしたものではありません。なんとなく、社会に出て人の役に立つ仕事をしたいなあと思っています。

運動神経がいいほうではないので、プロのスポーツ選手ではないでしょう。

ノーベル化学賞を受賞した吉野先生のような想像力や探求心も、今はまだありません。

世の中には、ぼくの知らない事や経験していない事がまだまだたくさんあります。

ぼくが「これだ!!」と思える仕事や、きつとどこかにあるはずです。

それが見つかった時に、その道を進んでいけるように、今はいろいろな勉強をしていきたい



明倫小 佐々木康伍

ぼくは鹿島が大好きです。鹿島は農業がさかんで、果物も野菜もとてもおいしいからです。でも、最近では農業をする人はお年よりがほとんどです。ぼくはそれを見て、大変そうだなあと思いました。

だからぼくは、そんな人たちのために、役立つ機械をつくりたいと思います。例えば、自動で肥料をまいたり、収穫した



山中 大野 若葉

私の将来の夢は、看護師になることです。

私は母が看護師ということもあり、幼い頃からこの職業に興味を持っていました。何回か母の病院へ行き、働いている姿を見たことがあります。とてもカッコよく、優しく患者さんに接

四月から、みんなとちがう中学校に通います。寮生活になります。不安と期待でいっぱいです。

そこで、新しい友達と一緒に一生懸命勉強したり、いろいろな経験をしてみたいと思っています。



三田川中 鶴 遥奈

私は、将来、人と関わり、人を笑顔に出来る仕事に就きたいです。

以前、買い物に行った時、お店の方が笑顔で「いらっしゃいませ」と迎えてくれました。その時、不思議と私まで笑顔になりました。私もそのような存在になりたいと思います。

表情には、「ミラー効果」があります。誰か一人が楽しそうに笑っていると不思議と周りの人たちも楽しくなり、逆に、誰か一人が怒った表情でいると周りも不愉快になるといいます。確かに、嫌なことや腹が立つことがあったとしても、友達が笑顔だと自分も笑顔になり、少しはリラックスできます。だから、私は、普段の生活で笑顔を絶やさないことを心がけていきたいと思っています。ミラー効果で私の周りの人が笑顔になってくれた

牛津中 古賀まな美

私の将来の夢は生徒の話をとことん聞ける教師になることです。

私が教師になろうと思ったきっかけは、中学2年生の時の数学の先生の影響です。数学が不得意でテストでいい点数が得ることができなかったけれど、先生が優しく、とても数学が好きになりました。その先生はとても教えるのが上手で、小学生の時から友達に何か教えることが好きだった私は、先生みたいな先生になりたいと思うようになりました。

私は生徒会長をしていました。生徒会でうまくいかず悩んだ時にその数学の先生は私の話を最後まで聞いてくださいました。そして私の何気ない話も真剣に聞いてくださいました。話を聞いてもらうことで、話を聞いてもらったこと、部活動ではバドミントンをしました。教師になったら部活でバドミントンを教えることができたらいいなと思っています。

私は中学校生活で、体育大会で団長をしたりなど多くのことを体験しました。これまでの様々な経験を生かして、その先生に少しでも近づけるようにたくさんのことを学びたいと思います。

王貞治さんの言葉で「幸運の神は笑顔と謙虚な人のところに近寄ってくる」という言葉があります。私は、この言葉のように、幸運の女神が近寄ってくるほどの笑顔でいたいと思います。そして、私の周りの人も、幸運の女神が近寄ってくるほどの笑顔にできるように頑張ります。

## 第41回 佐賀県小中学校PTA新聞コンクール要項

- 対象**  
小・中学校PTA(育友会)が発行する新聞で、平成31年4月1日～令和2年3月31日までに発行されたもの。
- 応募方法**
- 出品部数 同一日付(同一号数)のものを3部のみ(号数や発行日付が異なるもの3部は不可)
  - 出品規程 所要事項を記入した、出品カードを必ず同封する。
  - 添付品 審査結果通知用の官製ハガキを1枚ご準備いただき、責任者の氏名とあて先を記入し、応募作品と一緒に送付すること。応募作品の返却はしない。
- 締切り並びに送り先**
- 締切り 令和2年3月19日(木)
  - 送り先 〒840-0047 佐賀市与賀町1-24 佐賀県PTA連合会事務局 PTA新聞コンクール係

祝! 兵庫大会

### 第68回 日本PTA全国研究大会

### 第76回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会

# 富山大会

キトキト みんなで とやまなび  
～ここが今日も笑顔でありますように～

2020. 8.28 金 8.29 土  
分科会 全体会

分科会	会場	備考
第1分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第2分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第3分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第4分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第5分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第6分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第7分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第8分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第9分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第10分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第11分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第12分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第13分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第14分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第15分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第16分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第17分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第18分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第19分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400
第20分科会	富山県立文化センター 大ホール	富山県立文化センター 1400

主催 / 公益社団法人日本PTA全国協議会 東海北陸ブロックPTA協議会 富山県PTA連合会

※詳細はホームページ参照



―未加入問題の現状をどう把握しているか。
江田 正直、私たちのような県レベルでは分らないのが実情だが、「未加入への対応はどうか」という相談を受けることはあり、問題の存在自体は把握している。全国的に見

任意加入が原則であるPTA。近年、「できれば加入したくない」という保護者が増加傾向にある。PTAの存在意義をどう理解してもらうのか。江田明弘会長に聞いた。(聞き手＝瀬戸健太郎・県PTA新聞編集委員長)

### 会長に聞く



## 未加入問題

いながらも、ほぼ全員加入している。
江田 任意加入であること、を明言し、明文化すべきだと思。ただ同時にPTAの必要性を説明していくことも大切だろう。
―これまでPTAの役割を明示してこなかった。それが未加入の一因となっている。

## 解決の糸口は話し合い

江田 PTAの役割や必要性を言い続けたいといけない。PTAが無くなったらどうなるのか。未加入問題よりも先に、そういう議論が必要だろう。また日本PTAには、加入承諾書について検討している委員会があり、私も担当をしている。これまではほとんどの単位PTAで承諾書は取っていないが、今

れば訴訟問題になっているところもあるし、それが起因となり様々な問題が起きていることも事実。ただ県内ではそこまで大きな問題にはなっていない。
―未加入に起因する問題とは何か。
江田 全国的には集団登校から排除したり、卒業記念品を贈らないなどの問題が起

こっていると聞いている。これらはPTAに未加入だから受けられないのではなく、加入しているからこそ受けられるサービス。学校外のこと、学校が関与しない原則であることを分かってもらいたい。
―未加入に関する相談にはどう答えているか。

江田 PTAは「できる人」ができる時にできることをする」のが基本。未加入についてはそこを踏まえた上で、丁寧に話し合うしかないと思う。大半は話し合えば解決するのではない。現状はそれで落ち着いているケースが多いようだ。
―PTAは任意加入だと言

## 第55回 新春読書感想文コンクール 入賞おめでとう 佐賀県PTA連合会長賞決定



- 一ノ瀬優夏 (浜崎小2年)
- 益田 詩乃 (塩田小3年)
- 竹林穂乃歌 (巻木小6年)
- 片渕佐和子 (東原摩舎 中央校1年)
- 山田 隆夫 (佐賀市)

## 令和元年度 いじめ防止標語コンテスト入賞おめでとう

たくさんのご応募ありがとうございました。小学校109校、中学校56校 応募総数33,318作品

### ○全国賞

- 小学校の部 『がまんする ただそれだけが 強さじゃない。相談するのは 逃げじゃない。』 佐賀市立兵庫小学校 6年 伊藤 結愛
- 中学校の部 『大丈夫』いつも辛そうに言う君に いつも「そっか」で終わる僕 もう君の前から逃げないよ』 唐津市立第五中学校 2年 井上 綾

### ○優秀賞

- 小学校の部 『「いじめてないよ」その声のうらにかくれた 見てただけ』 佐賀市立神野小学校 5年 萩島 永愛
- 『全員で いじめできない 空気感』 佐賀市立勸興小学校 5年 武田 悠汰
- 中学校の部 『“自分とちがう”それだけで 見えてない線をひかないで。』 伊万里市立青嶺中学校 3年 山崎萌衣子
- 『「かわいそう」影で言うなら 行動で』 有田町立有田中学校 1年 濱田伊万里

### ○PTA推薦賞

- 小学校の部 『わたしはわたし できないだけで わらわないで』 佐賀市立芙蓉小学校 1年 羽生陽世里
- 『笑顔の インフルエンサー 私から 拡大中』 武雄市立西川登小学校 6年 石橋ななか
- 中学校の部 『した人と された人との 記憶の差』 佐賀市立成章中学校 2年 田中 裕果
- 『世の中の いじめなくすの 俺らだぞ!!』 鳥栖市立鳥栖中学校 3年 久保田誓也

### 回りじめ防止標語コンテスト表

小学校部賞状 佐賀市立兵庫小学校 6年 伊藤 結愛 佐賀市立神野小学校 5年 萩島 永愛 佐賀市立勸興小学校 5年 武田 悠汰 伊万里市立青嶺中学校 3年 山崎萌衣子 有田町立有田中学校 1年 濱田伊万里



表彰式 (昨年度の様子)



## 編集後記

新聞編集委員長 鳥栖小 瀬戸健太郎

まずは一年間、県PTA新聞を無事に発行することができてほっとしています。ともに編集作業に取り組んだ編集委員さん、原稿を寄せてくださった執筆者の方々、編集委員会を支えてくださった県PTA事務局、そして一年間愛読していただいた会員の皆さん、すべての方々に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

教職員の働き方改革をはじめとして、教育現場やPTAには多くの課題があふれています。これらの課題を共有し、解決に向けて取り組むため、県Pと会員をつなぐ唯一のツールである県P新聞を活用しようとする一年間、紙面改革を模索してきました。

改革の第一段は10・11月号から始まった「会長に聞く」です。県Pがどのように課題に取り組もうとしているのか、少しでも会員の皆さんに伝わっていただければ幸いです。

紙面改革はこれからも続いていきます。新年度以降も変わらぬご愛読をいただけるよう、よろしくお願ひします。

### 令和元年度 編集委員一同

- 中原 万通
- 東脊振中 村岡奈津美
- 城東中 (副) 江副真由美
- 牛津中 中村 義昭
- 東原摩舎東部校 豊川 香
- 西唐津中 本吉 佳子
- 啓成中 松尾 良子
- 有田中 福田 貴央
- 朝日小 富永 美香
- 大町ひじり学園(副) 中川 悦子
- 東部中 岡 光春
- 久間小 小田 寛之

一年間の大作を出品しました。県P新聞に力を入れています。3月1日(木)



**子育て応援メッセージ**

**つながる！** 元気にあいらずい 笑顔でね

**育もつ！** 食卓でつくる 家族の絆

**受けとめよう！** 子どもの心 メッセージ

子育てとは何か？一人目の出産直後は、自由な時間を奪われてしまう大変な生活が始まると感じました。しかしその考えは少しずつ変化し、今では親という役割を与えてくれて感謝しています。

二十二歳の長女、高校生の次女、中学生の長男がいます。幼い頃は目が回る日常の中でのちよつとした成長が楽しみでした。そして話すようになると自分の考えを発信し、大人では気付けない観点で物事に切り込んできます。それが刺激となり、新しい考えを持つことが出来ました。進路、就活などの時も沢山山話をしますが、今までの会話貯金のおかげでお互いの考えを理解し話し合えます。会話で新しい発見を楽しんでみて下さい。それが他人とのコミュニケーション力にも繋がる近道ではないでしょうか。

成章中P 古井奈知恵

**伝えよう！** 感謝の気持ち ありがとう

**見守り！** 地域ぐるみで 輪になって

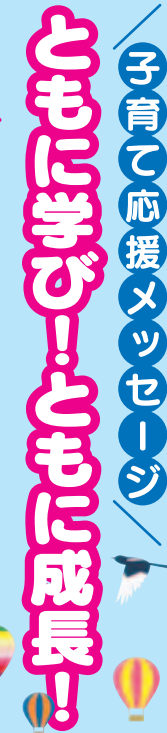
**話し合おう！** ルールを守って 情報モラル

「私の子育ては！」と言えるようなものは、恥ずかしながら持ち合わせていませんが、子どもたちは優しく、不器用ながら真剣に物事に取り組める子に育ってくれていると思います。

この子たちが、「先生に、お父さん頑張つとんしゃつね、つて言われた」「〇〇君のお母さんに挨拶の上手かって言われた」とたまに話してくれます。これがまた嬉しそうに話すのです。その時に、先生や地域の方々に、子どもたちの誇りと自信を育てていただいていることに改めて気づき、有難い気持ちでいっぱいになります。

地域の子どもの成長は自分の子どもの成長でもあります。これからも、子どもたちや子育てをする家族を、そつとサポートできる地域・PTAであつて欲しいし、私もその一員でありたいと思っています。

浜小P 江頭 晋介



**春日北小学校のPTA活動**

春日北小P  
会長 野口 剛志

歴史は浅いながらも春日北小学校PTAには、北つ子(春日北小学校)の子どもの愛称です)を中心に学校と家庭、地域のつながりを重視した活動が脈々と受け継がれています。また、一年を通じて子どもたちの安全を守り、先生方と保護者、親子の絆の築きにつながるさまざまな活動を執り行っています。

まず、北つ子の安全を守る活動として登下校時の時間帯にあいさつ運動と安全パトロールを全保護者が交代で行っています。また、学校から地域の方々に見守り活動の協力を呼び掛けていただいたお陰で安全安心な環境づくりの機運が高まっています。

**能古見小学校のPTA活動**

能古見小P  
会長 長友 篤志

能古見小学校は、鹿島市南部の山間部に位置し、市の面積の約半分を占める広大な校区を有しています。中山間地の集落、棚田、森林など、日本の原風景が残る自然豊かな環境の中で、子どもたちは元気に学び、遊び、成長しています。

能古見小学校PTAには、奉仕作業、広報誌発行等を担当する「総務・広報部」、体育関係の学校行事の運営補助等を担当する「保健・体育部」、読み語り、

バザー、ヘルマーク活動等を担当する「母親部」の三つの専門部があり、それぞれが、各専門部長を中心として、工夫を凝らしながら、様々な活動を展開して

**特色ある単Pの活動**

~佐賀市・鹿島市編~ Vol.63

次に学校と家庭のつながりを深める活動として毎年一学期にPTA親睦ミニバレーボール大会を開催しています。先生方と保護者が一緒に汗を流し、終始和気あいあいとした雰囲気の中で貴重な交流の機会となっています。

最後に親子の楽しい行事として、十一月のフリー参観終了後にPTA主催のお祭り「きたき祭り」を実施しています。祭りでは保護者が模擬店販売を行う出店部門と北つ子たちが趣向を凝らし練習を重ねた出し物を披露するステージ部門があります。

しかしながら、会員(保護者)の中には、PTAがどういう組織なのか、どういう活動を行っているのか分からないという意見もあり、日ごろからPTAの諸活動について適切に情報発信を行い、理解を得る必要性を感じました。

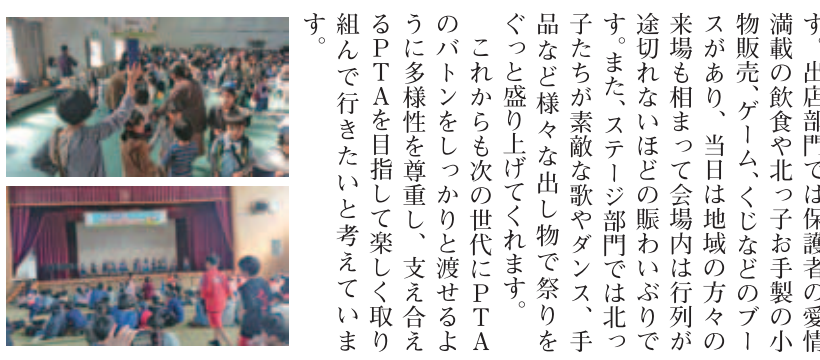
そこで、本部役員で検討を行い、会員に向けて日ごろのPTA活動についての情報を発信し、PTA活動をより身近に感じてもらふことを目的として、能古見小学校PTAのLINE公式アカウントを開設し、二〇一九年四月から運用を開始しました。このアカウントを一友だ



ち追加した会員のLINEに、PTA関係行事の案内や結果報告、本部役員からのお知らせなどを、リアルタイムに発信しています。

二〇一九年十二月末時点で、「友だち追加」数は八十九人となっており、全会員(二一四人の八割弱)となっています。情報発信に際しては、プライバシーに留意するとともに、不快感を抱かれないような表現・頻度とするなど、配慮を行っています。

引き続き、PTAの情報発信ツールとして、LINE公式アカウントを活用し、PTA活動の活性化に役立てていきたいと思っています。



**佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について**

**お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。**

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先: **0120-228-553** 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン) 受付時間:平日午前9時~午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

2020年2月現在の内容です。